

## 6月定例会・代表質問(6/14)で登壇

## 清水はやと市長の4期目を質す！

**神崎**⇒5月の市長選挙は過去最低の投票率だが、清水市長の得票は21万票を超え過去最高だった。得票率も全体で71.5%、全区すべてで65%を超え、圧倒的な勝利だった。この結果を受けての4期目の決意を伺う。

**市長**⇒まずは、市民の皆さまの生命や生活が未曾有の脅威となっている新型コロナウイルス感染症対策に全力を傾けこの危機を市民の皆さまとともに克服していく決意だ。また、人口減少まであと10年間という残された時間の中で、市内外さまざまなお力を借りて、本市の持続可能な基盤づくりを行い、市民の皆さまのしあわせのシンカや成長のシンカを実現していく決意だ。

**神崎**⇒本庁舎移転を公約に掲げたが、今後のプロセス及びどのように市民理解を深めていくのか。また現本庁舎跡地の利活用の検討をどのように進めていくのか伺う。

**市長**⇒合併30周年の令和13年を目途に新庁舎の供用開始を目指す中で、まずは本庁舎整備の具体的方針を市民の皆さまに分かりやすくお示しして、基本構想を今年12月に策定する。そして、私から直接市民の皆さまにご説明し、ご意見を伺う機会を設ける。跡地の利活用は、市民の皆さまからご意見を伺うことはもとより、有識者からの世界を意識したグローバルな視点を持ったまちづくりビジョンの検討を踏まえ、県都・文教都市に相応しい拠点となるよう進めていく。



**神崎**⇒地下鉄7号線延伸の公約を掲げたが鉄道事業者への要請に向けての計画素案や中間駅のまちづくり計画の策定の時期はいつになるのか。また、任期内に申請手続きに入るための市長の決意を伺う。

**市長**⇒鉄道事業者への要請に向けて、令和5年度までに速達性向上事業に関する素案を作成する。また、中間駅のまちづくりについては、今年度に計画案を作成し、国との協議を進め、令和5年度には都市計画決定及び事業認可に向けた手続きを進める。4年の任期内の出来るだけ早い時期に、鉄道事業者が申請手続きに入れるよう、私自身覚悟を持って全力を挙げて延伸の実現に向け取り組む決意だ。

## 特別支援学校の整備

**神 崎**⇒県と連携した知的障がい児の特別支援学校の環境整備について、市立の知的障がい児の特別支援学校の設置を視野に整備すべきと考えるが見解を伺う。

**教育長**⇒本市では、インクルーシブ教育システムの構築や教員の専門性向上に向けて、全力で取り組んでいるが、特別支援学校で学ぶことを希望する児童生徒が増え、知的障がい児の県立特別支援学校が過密な状況は認識している。

県教育委員会とは、知的障がいのある児童生徒の教育環境について、本年3月に教育長間で意見交換を行い、教育環境整備について更なる協議を進めることを確認した。今後は、県教育委員会と強力な連携のもと具体的な方策について協議を進める。

## パートナーシップ宣誓制度の更なる充実

**神 崎**⇒県内外の自治体とパートナーシップ宣誓制度の相互利用の協定を積極的に結ぶべき、さらにファミリーシップの考え方を取り入れるべきと考えるが見解を伺う。

**副市長**⇒本市では制度の認知度がいまだ十分ではないという課題があり、今後は制度の一層の周知に努めたい。

併せて、本制度をより利用しやすいものとするため、制度の利用者や関係団体などの声に耳を傾け、自治体間のパートナーシップ宣誓制度の相互利用の協定やファミリーシップ制度の導入など、さまざまなニーズの把握に努めたい。

## ワクチン接種・その1

**神 崎**⇒最新の予約状況と1回目・2回目の接種率及び6月末、7月中旬、7月末までの各期日における接種率、さらに64歳以下の接種券の発送と予約・接種の時期を伺う。

**副市長**⇒予約状況については、7月4日までに24万件の予約が入っている。6月11日時点で高齢者32万人の内、1回目の接種が25.6%、2回目が0.8%であり、今後の2回目接種終了の見通しは、6月末40%、7月中旬62%、7月末82%。64歳以下の接種券は、6月中に発送を始め7月中には全ての接種券を送付し、予約・接種も順次行う。

## ワクチン接種・その2

**神 崎**⇒市民からの声を受け、私たち会派は緊急要望書を提出したが、その改善点について伺う。また、ワクチン接種の体制強化及び今後の接種拡大に向けた対策と希望する市民全員が接種終了する時期の目標を伺う。

**副市長**⇒民主改革市議団の緊急要望を踏まえ、コールセンターの回線を166回線から200回線に拡大、接種相談や予約支援の窓口を区役所から公民館や図書館にも広げ、自治会への周知を図った。また、64歳以下の予約についてWeb予約のアクセス環境を改善する。ワクチン接種の体制強化については、ワクチン対策室への全庁一丸となった対応に努め、市民への丁寧な情報発信を行い、庁内での綿密な情報共有を図る。今後は、各医療機関での接種数の拡大とともに、集団接種会場を充実し、希望する市民を取り残すことなく、1日でも早く接種完了すべく全力で取り組む。

この紙面では、代表質問の抜粋を記載いたしました。詳細については、さいたま市議会 HP にあるインターネット録画中継(約1時間)をご覧ください